

本日のプログラム

<委員会報告>

雑誌委員会

大西委員長



私自身、「ロータリーの友」の良き読者とは言えませんが、雑誌委員長には直接送られてきます。今は丁寧にはほとんど全ての記事を読んでいます。

7月号からは、RCの創設者ポール・ハリス氏の一生がコミックで始まりました。8月号のスピーチ欄は、美術評論家・茨城大学名誉教授・小泉晋弥氏の国際ロータリー第2820地区第1区IM基調講演要旨が掲載されています。明治から大正にかけて、近代化・西洋化の波の中での日本の文化のあり方について苦闘し、日本美術学校・日本美術院を創設した岡倉天心について、茨城の五浦という場所をキーワードとして述べられた講演です。

藤井棋士は、新聞・書物を問わず大変な読書家とのこと。一昨年50勝を達成した時のインタビューで、「1局1局指してきたのが節目(せつもく)の数字となりました」と述べています。AIによる研究ばかりが大きく取り上げられますが、読書もその人間性の形成に一助となっていると思います。

という訳で、是非「ロータリーの友」を毎月お読みいただきますよう宜しくお願いいたします。

また大西委員長からは、40年前に訪れた、ポール・ハリス氏出身のアメリカ・ウィスコンシン州の、現地で目にした高齢者が入居する、託児所ならぬ託老所があり驚いたことが、今の日本で広く当たり前に普及してきていることをしみじみと感じていると話されました。

米山奨学委員会

阿久澤委員長

先日行われた委員長会議に、Zoomで参加しました。

[米山奨学委員会とは]

外国人留学生に対し、ロータリーの寄付金を財源として支援する民間最大の奨学団体。1952年、東京ロータリーの父、米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として始まる。

・寄付金は年間25,000円以上

◆目的…将来母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的。

◆民間最大の奨学事業…年間860人。国際奨学団体としては、事後規模、採用数とも国内民間最大規模。

◆特色…経済的な支援だけではなく、ロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援がある。

◆世話クラブでおこなわれること

・月に1回例会への出席

・奨学金の受け渡し

・スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加等

当クラブでも、今年は中国からきたジェラット君を迎えており、小島会員に担当カウンセラーになっていただいております。皆様のご理解とご協力どうぞよろしくお願いいたします。

また、阿久澤委員長からは医療従事者の立場から、コロナウイルスについて、正しい知識を持ち、かからない事、うつさないことに注意する事。連日の猛暑による熱中症への注意点や水分の摂り方、健康に対しての提案

などが話されました。



<点鐘>

赤本会長